

「やまなし創世」に資するグローバルリーダーの育成

DOOR 一扉を開いてー

令和4年度探究成果概念図

▼研究開発の背景

少子高齢化、急激な人口の減少 中心部の空洞化、都市の拡散、事業所数の減少等
やまなし創世に資する人材＝グローバル人材の育成が必要

▼R4目標：『グローバル人材に必要な能力を育む体制やプログラムの構築』

身に付ける能力「課題発見力、論理的思考力、創造力、コミュニケーション力、発信力」

▼取組状況・研究概要

研究の流れ

- ①多様な担い手によるコンソーシアムを構築する（右記）
- ②ワークショップ等にて各種課題を出し合い、課題を生徒主体で設定する
- ③明確化された課題に対して、コンソーシアムでチームを編成、連携しながら解決策について探究。必要なスキルを「学校設定科目」（下記）と連携しながら取り入れる（カリキュラム化）
- ④PoC（概念実証）を行い解決に向けた取り組みを行う
- ⑤成果については校内外で発表を行う
- ⑥PDCAサイクルを回し、カリキュラムの見直しを行う

展開のイメージ

上記研究
の流れ

インプット

アウトプット（学内外）

- ・国際未来探究フォーラム
- ・成果発表会
- ・提案発表会（Y-NEXT等）
- ・各学会
- ・留学（トビタテへの応募等）

アウトカム

- ・グローバル人材育成に資するカリキュラムの構築
- ・持続可能な運営体制の構築
- ・連携企業の新規事業の創出
- ・政策提言・留学生の増加等

学校設定科目（グローバル探究ⅠⅡⅢ）の取組状況

1年次

- 「グローバル探究Ⅰ」
- ・山梨県政策レクチャー
 - ・基調講演（農林水産省）
 - ・農業シンポジウム
 - ・連携大学講演
 - ・グローバルセミナー
 - ・課題の設定・調査研究
 - ・海外姉妹校共同調査

2年次

- 「グローバル探究Ⅱ」
- ・調査研究・検討（地域との協働、SDGsを視野に）
 - ・連携大学講座
 - ・海外講師と語るSDGs
 - ・イングリッシュプレゼンテーションセミナー

3年次

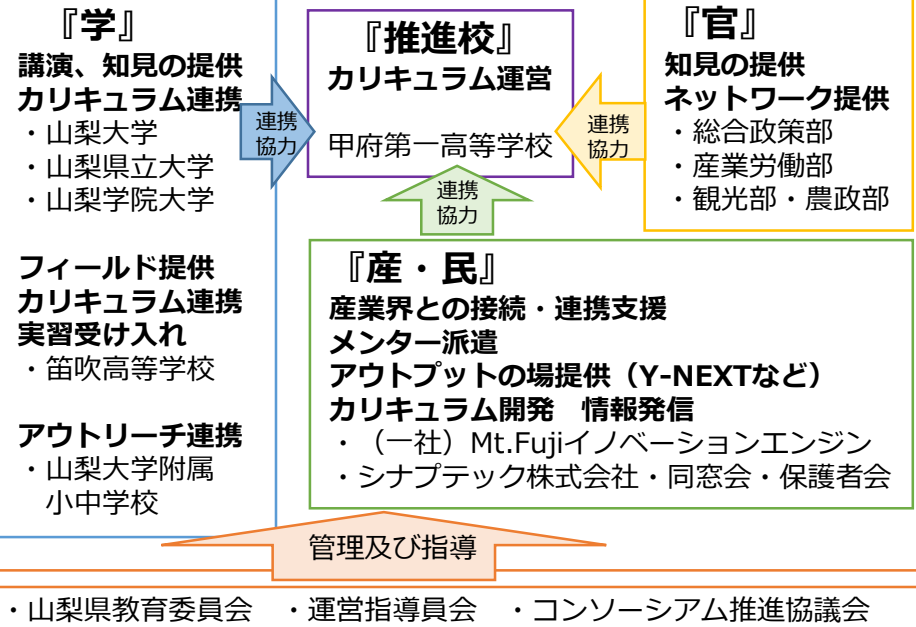
- 「グローバル探究Ⅲ」
- ・探究の深化と総括
 - ・論文作成及び投稿
 - ・自治体・企業への提案
 - ・政策提言等

◎各年次において
成果発表会実施

コンソーシアムの構成・研究開発の実施体制

やまなし創世に資するグローバルリーダーを育成するために、

- ・甲府第一高校を推進校とした産学官民のコンソーシアムを構築
- ・オール山梨で取り組む体制を構築



▼成果と課題

産学官民のコンソーシアム構築によって、様々な応援をいただきながら生徒は有意義な探究活動に邁進できている。一方で、コロナ禍の活動は様々な行動制約を受けたが、オンラインの普及は結果として主要な日常ツールとして定着した。

本事業を通して、良好な環境整備と生徒のモチベーションの高揚が図れた。次年度以降においても、この流れを踏襲した形で発展的な学習に臨んでいきたい。そのことを踏まえ、本年度までの課題として、①探究を深化させる高度な学びの提供の必要性、②コロナ禍での国際交流の減少と英語で議論する力の育成、③教員間での目的やノウハウの共有という3点の課題を挙げ、これに対する中長期目標として、①個別最適化した高度な学びの提供と連携校への各学習プログラムの拡大、②国境を越えた合同カリキュラムの開発と高校生国際会議の定期開催といったスキルを掲げ、「やまなし創世ネットワーク」の創設を目指していきたいと考える。